



地域交流施設

おにぎり  
べんち

ONIGIRI BENCH

みんなで作る  
新たな対話

安心して失敗できる  
それが大事



坂口 明夫 さん

社会福祉法人

児童養護施設甘木山学園 理事  
子ども家庭支援センターあまぎやま  
センター長

菅原 知之

医療法人CLSすがはら  
専務理事

地域交流施設「おにぎりべんち」のテーマ「地域ではたらく日常」。  
「役割」や「生きがい」、「はたらく」とは何か?  
地域の未来を見据える2人が対談しました。

▲「おにぎりべんち」の縁側(?)に二人座って。  
坂口さんの人柄のようなぽかぽかな小春日和。

虐待を受ける子どもや、その家庭の支援を中心に、地域で多くの活動を行っている坂口さん。菅原とは子どもの学びと気付きの場を創出するプロジェクト、一般社団法人「OMUTA BRIDGE」の仲間でもあります。坂口さんご自身にとっての「はたらく」ということ、「生きがい」について聞きました。

菅原 「おにぎりべんち」は、訪れる人がいろんな役割や生きがいを見つける場所にしたいと思っています。そういった意味で、「労働」というより、「活動」「作用」「効果」などの意味合いを含めた「はたらく」をイメージしているのですが、まさに坂口さんははたらき方と相通ずる部分があります。一般企業なら肩書きありきの役割がありますが、坂口さんはその枠を突き抜けて「坂口明夫」そのものが肩書きのように感じます。どうしたらそんなはたらき方ができるんですか？

坂口 僕の生い立ちの影響が大きいですね。僕は天涯孤独で育ったおかげで、バックボーンやしがらみがないのが強みです。だからこそできることがあって、だめだったらやめればいいし、失敗も成功もない。他の人にはできんよねと思って自由にやってるだけなんです。出る杭は打たれるけど出すぎた杭は打たれないでしょ。現場にいることが好きなのできっとトップには向いてないですね。3~4番手あたりに



▲当日の取材は「おにぎりべんち」にて。撮影用に準備した負けないおにぎりと、つい数日前にほうじ茶を前にパチリ。取材したライターも一緒に、真剣ながらもあたかな雰囲気のひととき。

いて、みんなが動きやすいように仕掛けを考えて人を動かす。はたらくというより「はたらきかける」のが役割かなと思ってます。ただ、飽き性なので安定期になると任せて次の所に行こうって思っちゃう(笑)。

菅原 好きにやっているといいながら、一方で全体を俯瞰して他者のための環境を整えるはたらきを持っていらっしゃる。そして役割を脱いで新たな場所に身を投じると。坂口さんは今、ご自身がはたらいておられる学園も含め、福祉施設の役割は単に施設内のみで完結してはダメで、地域とのつながりやはたらき環

境づくりに力を入れるべきだとよくおっしゃっています。

坂口 甘木山学園は今でも荒波の中だし、子どもたちとの関係も大切なので、まだまだやめることはできませんね。おっしゃるどおり、子どもたちが地域でさまざまな経験ができるることはとても大切なんです。子どもが安心して失敗して、泣ける環境があることが大事。今は逆でしょ。「傷つかないようにしよう、失敗しないようにしよう」とする傾向が強い。そのスキルだけ身につくと、本物に触れられないと思う。多くの病院や行政施設は人ではなくハード面である「箱」に重きを置いてい



開催したワークショップでも振る舞った星野村  
さきに。

る。例えば公民館や地方自治の仕組みを見ると、円滑に機能していないケースも多いのではないかでしょうか。行政は“地域で頑張って”といいますが、地域の皆さんには忙しいし、そこにパワーを使う余力がない。地域住民が「義務」と捉えることなく、自分自



（星野村さき）



身の役割が明確になって、主体的に動けることが必要だと思うんです。

その話は「おにぎりべんち」としても参考になります。公共的な施設や仕組みの多くがうまく機能していないと思われるのはどういった理由からなんでしょう？

坂口 単純に制度疲労を起こしているんじゃないかと思います。公共的な施設で実施される取り組みは大前提として「地域参加」をうたっていますが、実際に動けるのは高齢者。それでは現役世代とのマッチングも機能しません。「おにぎりべんち」でこれからやろうとすることが、本来の公共施設の役割を担えればいいですね。支える人・運営側が義務的になっちゃうとうまいかない。僕は保育園、小中高とPTA会長をしましたが、全て大人の部活動だと思って楽しんでやってきました。だって人間って自分にとってメリットがないと動かないでしょう。そこが生きがいにもつながると思います。

◆NPO法人ポピンズくまもとが運営する「児童家庭支援センターぽぴんず」のリーフレット。今年10月1日に宇城市に開所した。坂口さんはこちらの開設や運営にも携わっておられ、地域で困難な生活を強いられている子どもや家庭などへの支援に日々奔走されている。

菅原 それはすごく共感できます。メリットや生きがいを感じて活動することはここでの目標の一つです。今のPTAなどはまさに「する」側と「される」側との関係になりがちですよね。役割って強制されるととてもキツい。



坂口 保育園で、保護者会が企画して保育士を逆にもてなすイベントをやったんです。保育園の先生たちはすごく献身的に頑張ってくれている。じゃあ1回くらいは先生たちが主人公になって欲しいと思って。「普段着で自分の家族やパートナーと来てください」と呼び掛けました。司会も僕たちがやって、サイダーの早飲み大会などをやりました。これがまさにそれぞれにメリットがある事例で、園側から見れば職場を大事にしているし、先生たちも特別な経験ができる、そして子どもたちは自分の担任がはしゃいで



楽しんでいる様子がめちゃくちゃうれしい。みんながハッピーになれる好循環です。何年か前に園から「イベントが10年目を迎えた。生みの親なのであいさつしてください」と連絡がきました。知った人もいないからさすがに断りましたけど(笑)。まいた種が花を咲かせて、今もイベントは続いています。

**義務的にならずに、お互いがメリットを感じるために何が必要だと思われますか？**

**坂口** 僕には仕事を進める上で自分なりの到達点があって、逆算して仕掛けを考えながら、要所でしっかり説明をするんです。何のためにやるのか、関わる人にとってどうプラスになるのか

を明らかにします。その上で「責任は俺が取るよ」と。説明責任と結果責任を果たすというのが僕のポリシー。そこがブレないので一緒にやってる人が頑張れるんだと思います。

**菅原** 坂口さんは、言葉だけじゃなくて生き方を含めて結果責任を表現しているのかもしれませんね。だからみんなが安心してアクションできる。

**坂口** 僕にもし、人より上手な部分があるとすれば、メリットを分かりやすく言語化できること。人間は自分のためだけでも、誰かのためだけでも続かない。そのバランスを取るのが得意です。一方的に勝ちすぎず、負けすぎない辺りを狙っていく。つまり「落と

し所の達人」です(笑)。僕はサバイバーだから(笑)。すごくアリストなんですよ。子どもの頃からいろんな大人をたくさん見てきたから。人を見る目がたけているし、距離感も自然と測れる。接したり、近づいたり、サバイバーだったからこそポジションや役割が分かる、というかそんな力が身に付きました。ここもたくさん



人たちの出会いの場になったらいいですね。

菅原 「おにぎりべんち」は、訪れる人とつながり、寄り添ってともに歩いていくことを大切にしたいですね。



△対談を終えて。坂口さんはキャラクターグッズや面白いお菓子などをいつも持ち歩き、様々な人と関わる中でそれらを使い楽しいコミュニケーションを図っている。

坂口 僕も問題解決すること自体よりも、問題改善を助けてくれる仲間をたくさんつくる方が大事だと思います。自立って言葉がありますが、他人に迷惑をかけず頼らないことが自立ではなくて、自分の弱さが分かって、「頼れる人を知っていること、頼るタイミングが分かること」が重要。頼れる人をどれくらい見つけられるか。ここがそのプラットホームになることを期待しています。僕は今日も頼れる仲間を見つけて飲みに行きます(笑)。

菅原 (笑)。迷い、不安に思うことがあるあっても、そんな時に坂口さんみたいな人がいると、人は力を発揮できるんだと思います。坂口



▲人気漫画『進撃の巨人』(諫山創著/講談社刊)の主人公が所属する調査兵团の徽章「自由の翼」を背負って。「隠れても眞の平穡は訪れない。自由を取り戻す為に進み続ける」といった考えに共感するものがあるのかも。

さんは“羅針盤”的な存在ですね!おにぎりべんちはそうした人とつながり、また生み出す場となることを目指したいものです。

**管理栄養士が考える  
『負けないおにぎり』  
そんな方に握ってあげたい  
そんなおにぎりレシピ。**

**△ ONIGIRI RECIPE**

**【材料(4個分)】**

- ・玄米ごはん  
(白米3/4合、玄米1/4合)…300g
- ・卵 ………………60g
- ・ブロッコリー ………………50g
- ★塩麹 ………………大さじ1強
- ★料理酒 ………………小さじ2
- ・白だし、または薄口しょうゆ ……適量

**【作り方】**

- ①溶き卵に★を入れ、炒り卵を作る
- ②ブロッコリーは塩ゆでにし、水気を切って刻む
- ③温かいごはんに①、②を入れて混ぜ合わせる
- ④味を見ながら白だしましたは薄口しょうゆで味を調整し、握る

# 負けない ウイルスに おにぎり

(卵とブロッコリー)